

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル
 コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

(氏名) 森 正人
 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	2,925	—	96	—	31	—	2	—
26年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	0.92	0.92
26年6月期第2四半期	—	—

(注)当社は平成26年6月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成27年6月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成26年6月期の経営成績(累計)及び前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年6月期第2四半期	2,902		238		7.8	
26年6月期	2,446		49		2.0	

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 225百万円 26年6月期 49百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,219	3.7	292	542.7	255	—	235	—	81.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	3,033,500 株	26年6月期	2,737,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	93,672 株	26年6月期	93,672 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	2,880,833 株	26年6月期2Q	837,380 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご利用ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成27年6月期第2四半期累計期間(平成26年7月1日～平成26年12月31日)の業績は、平成26年6月期第2四半期累計連結業績に比べて、売上は2,925百万円と394百万円の増収、経常利益は31百万円と71百万円の増益、四半期純利益は2百万円と83百万円の増益と業績が大幅に改善されました。業績が改善された主な要因は高コスト体質からの脱却を目指して、平成25年10月以降、経費の見直し、業務委託の見直し、適性な人員配置などコスト削減に取り組んだ結果、前年同四半期に比べて大幅な販売管理費の削減を達成しております。また平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併し、製造機能を強化し、調達から販売まで一貫した商品供給が可能となったことも売上、利益の拡大に寄与いたしました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、中でも「ホットプレート」は当初の想定以上の売上を上げております。またトラベル商品ブランド「ミレスト」は平成26年7月にオープンした「Travel Shop Gate 成田国際空港店」を始めトラベルショップ5店舗すべて好調に推移し、売上を伸ばしております。またリレント化粧品関連販売の売上も増加したことにより、売上高は2,925百万円となりました。

利益については、前述の売上高の増加と収益改善策の一環として前期より引き続き実施しているコスト削減策の効果が寄与いたしました。円安の影響による為替差損が42百万円発生したことにより、営業利益は96百万円、経常利益は31百万円、四半期純利益は2百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り、ホットプレート等のキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」やトラベル商品ブランド「ミレスト」など自社商品ブランドが好調に推移し、またリレント化粧品関連販売の売上が加わったことで、売上高1,759百万円、営業利益は307百万円となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、「Travel Shop Gate 成田国際空港店」等新規店舗分の売上増加により1,166百万円となりましたが、仕入商品の売上比率が上昇し粗利益率が下落したことにより、営業利益は56百万円となりました。

その他においては、売上高は0百万円となりました。

現状において、高コスト体質からの脱却や経営体制の変更等、経営体質の改善は完了しており、平成26年6月期第2四半期連結業績に比べて平成27年6月期第2四半期においては、大きく黒字に転じております。今後は一層の商品力の強化とEコマース等販売力の強化等を図り、また健康コーポレーショングループとのシナジーを最大限に活用することで、大幅な利益面の改善を図るべく諸施策を実施し、通期で大幅な利益を達成し、V字回復を果たす所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

1. 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は、2,902百万円(前事業年度末は2,446百万円)となり、455百万円増加しました。

流動資産は、2,545百万円(前事業年度末は2,020百万円)となり、524百万円増加しました。これは現金及び預金の増加(109百万円)、受取手形及び売掛金(純額)の増加(143百万円)並びに商品及び製品の増加(186百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、356百万円(前事業年度末は425百万円)となり、69百万円減少しました。これは無形固定資産の増加(7百万円)があったものの、有形固定資産の減少(36百万円)及び投資その他の資産の減少(39百万円)があったことによるものであります。

流動負債は、2,582百万円(前事業年度末は2,173百万円)となり、409百万円増加しました。これは引当金の減少(2百万円)があったものの、支払手形及び買掛金の増加(152百万円)並びに短期借入金の増加(79百万円)及びその他の増加(175百万円)等があったことによるものであります。

固定負債は、81百万円(前事業年度末は223百万円)となり、142百万円減少しました。これは長期借入金の流動負債への振替による減少(149百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、238百万円(前事業年度末は49百万円)となり、188百万円増加しました。これは第三者割当増資による資本剰余金の増加(161百万円)等があったことによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、416百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は9百万円となりました。

これは、減価償却費(38百万円)、支払利息(19百万円)、仕入債務等の増加(152百万円)及びその他(115百万円)等による資金の増加があったものの、売上債権等の増額(134百万円)及びたな卸資産の増加(198百万円)等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は0百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出(19百万円)並びに敷金及び保証金の差入による支出(13百万円)等による資金の減少があったものの、保険積立金の解約による収入(28百万円)等の資金の増加があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は118百万円となりました。

これは、短期借入金の返済による支出(34百万円)及び長期借入金の返済による支出(36百万円)等による資金の減少があったものの、株式の発行による収入(186百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年9月29日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307	416
受取手形及び売掛金(純額)	424	567
商品及び製品	902	1,088
仕掛品	16	15
原材料及び貯蔵品	58	71
その他	311	385
流動資産合計	2,020	2,545
固定資産		
有形固定資産	235	198
無形固定資産	11	18
投資その他の資産	178	139
固定資産合計	425	356
資産合計	2,446	2,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	427	579
短期借入金	1,321	1,400
関係会社短期借入金	150	150
未払法人税等	—	5
引当金	20	18
その他	254	429
流動負債合計	2,173	2,582
固定負債		
長期借入金	149	—
リース債務	24	27
受入保証金	38	31
引当金	—	1
その他	11	20
固定負債合計	223	81
負債合計	2,396	2,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	111
資本剰余金	1,111	1,273
利益剰余金	△1,079	△1,077
自己株式	△82	△82
株主資本合計	49	225
新株予約権	—	12
純資産合計	49	238
負債純資産合計	2,446	2,902

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,925
売上原価	1,672
売上総利益	1,252
返品調整引当金戻入額	6
返品調整引当金繰入額	7
差引売上総利益	1,252
販売費及び一般管理費	1,156
営業利益	96
営業外収益	
その他	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	19
為替差損	42
その他	3
営業外費用合計	65
経常利益	31
特別損失	
保険解約損	12
その他	2
特別損失合計	15
税引前四半期純利益	15
法人税等合計	13
四半期純利益	2

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	15
減価償却費	38
保険解約損益(△は益)	12
減損損失	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8
支払利息	19
売上債権の増減額(△は増加)	△134
たな卸資産の増減額(△は増加)	△198
仕入債務の増減額(△は減少)	152
その他	115
小計	14
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△16
法人税等の支払額	△8
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19
無形固定資産の取得による支出	△9
敷金及び保証金の差入による支出	△13
保険積立金の解約による収入	28
その他	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△34
長期借入金の返済による支出	△36
株式の発行による収入	186
その他	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	118
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	109
現金及び現金同等物の期首残高	307
現金及び現金同等物の四半期末残高	416

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月31日付で、健康コーポレーション株式会社及び株式会社ジャパングルズS Cから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、資本金が75百万円、資本準備金が75百万円増加しております。

また、平成26年10月1日付で、機動的かつ効率的な運営を推進するための資本政策に備えるための無償減資を実施いたしました。この結果、資本金が75百万円減少し、その他資本剰余金が75百万円増加しております。

さらに、平成26年12月8日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権を付与いたしました。この新株予約権の行使の結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が11百万円、資本準備金が11百万円増加し、資本金が111百万円、資本剰余金が1,273百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第2四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	1,759	1,166	2,925	0	2,925	—	2,925
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,759	1,166	2,925	0	2,925	—	2,925
セグメント利益	307	56	363	—	363	△267	96

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△267百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住関連ライフスタイル商品小売事業」セグメントにおいて、2百万円の固定資産減損損失を計上しております。